

中谷博 なかたに ひろし 文藝評論家。明治二十一年十一月一日和歌山縣生れ、  
 昭和四十一年十月二十五日没（一九九一・九七）。筆名中涼藤也、玄甫。  
 大正十五年早稲田大學文學部獨文科卒。昭和十年歐洲留學、二十四年  
 早大教授。

著譯書『明治維新の全貌』（合著・早稲田大學講演部編、昭和十年四月  
 月一日早稲田大學出版部）、『早稲田精神』（昭和十五年四月二十二  
 日大觀堂書店）、パウエル・ハイゼ作『カプリ島の結婚』（舟木重信共  
 譯、昭和十八年一月二十一日今日の問題社）、『ノーブル賞文學叢書』（、  
 ハドルナ・ビンディング他作『ナチス新鋭文學選集』（共譯、昭和十  
 六年二月二十八日春陽堂）、武者小路實篤作『新らしき家』（編、昭  
 和十八年五月十日大觀堂）、『好色の藝術家—井原曲鶴』（昭和二十  
 二年）二月十日富士出版株式會社）、『大衆文學』（昭和四十八年七月  
 二十五日桃源社）等。

文獻『想い出の中谷博』（昭和四十八年九月二十日想い出の中谷博・  
 刊行會編刊）等。

